

「ふくおか」から発信する、市民公益活動の情報誌

「明日の市民」の思いを込めて

# ASUMIN NOTE

紙媒体  
「あすみんノート」  
最終号

創刊より紙媒体でお届けしてきた  
あすみんノートは本誌が最終号です。  
次号から電子版に変わります。  
詳しくは裏面で。

[あすみんノート]

2023 Summer

No. 32

talk about Fukuoka

Special Issue

「みらいのふくおか」を語ろう

Voice

岩永 真一(福岡テンジン大学)

GOOD ACTIVITY FILES

NPO法人福岡建築ファウンデーション  
We Love天神協議会

@DATA

福岡市の魅力と発展

Asumin Information

Asumin Recommend

「あすみんノート」紙版・終了のお知らせ

Hondana!

はじめてのまちづくり学

Organization Introduction

登録団体紹介:登録番号869~896

2023(令和5)年6月15日発行

【編集・発行】福岡市NPO・ボランティア交流センター あすみん

Talk about Fukuoka

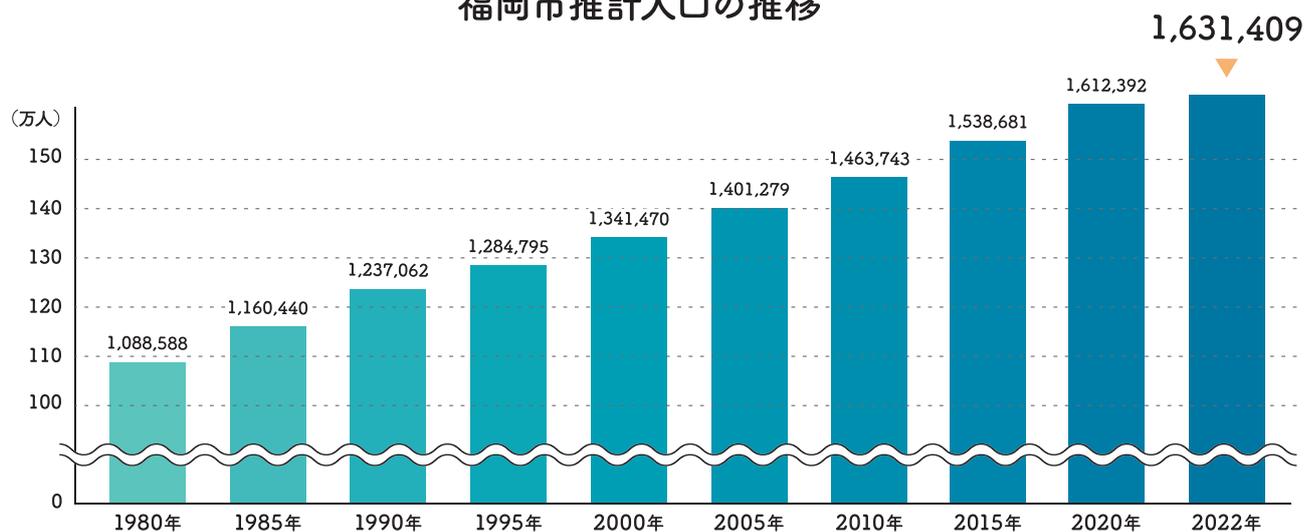
# 「みらいのふくおか」 を語ろう



福岡市のまちは、日々発展を遂げ、令和4年度の人口は、1,631,409人と、前年度に比べて、11,824人増加しています。これは政令指定都市で見ても、最も多い人口増加数となっており、現在も伸び続けています。まちを見ても新しい商業施設やビルの建設が盛んで、今後あらゆる面での発展が予想されます。

今号のあすみんノートでは、発展していくまちの姿やそれに伴う社会課題を紹介し、市民活動が求められること、できることを考えてみます。

### 福岡市推計人口の推移



出典：福岡市統計書（令和4年版）

# VOICE

ボイス

福岡テンジン大学

岩永 真一さん Shinichi Iwanaga

## グリーンバードとの出会い

僕のキャリアのスタートは動画制作をしている会社のアルバイトからです。大学生だった頃、世の中はまだ就職氷河期の時代で、就職活動をしていても毎回最後の社長面接で落とされていました。それが何度か続くと、絶対にクリアできないゲームをしているような感覚になり、次第に就職活動自体がイヤになり、そのまま卒業してしまいました。周りにはみんな正社員に

なっている中、アルバイトで生計を立てている、結構辛い時期でした。その後、デザインプロダクションの営業として就職することができ、クリエイティブ関連の会社を何度か転職し、独立しました。独立しようと思った一番のきっかけは、制作を通して人と人をつなぐような僕がやれている仕事は、フリーランスでもできるなと思ったからです。他にも、大学4年生の時に参加した、天神のまちを掃除しているグリーンバードとの出会いは大きいです。当時の僕は、アルバイトから社会に出たということもあって、どこにも所属していない不安定な状態でしたが、唯一グリーンバードだけが、居場所と言える存在でした。活動には欠かさず参加していましたし、自分が中心になって、盛り立てていこうと意気込んでいて、参加するとい

今号のVOICEでは、「学び」という切り口から、人と人をつなぎまちづくりを行っている、福岡テンジン大学の学長岩永真一さんにお話を伺いました。

うよりは運営する感覚に近かったです。ここでは、自分でイベントを企画したりして、本業とは別の繋がりが広がっていきました。当時勤めていた会社がweb制作会社だったこともあり、グリーンバードで生まれたネットワークから、web制作の依頼が来るようになりました。次第に、勤めていた会社では処理しきれないような相談も来るようになり、自分で仕事も作れるようになってきたので、独立を決意しました。

## 市民活動に情熱的に取り組めた理由

2つ理由があって、1つ目はグリーンバードは、福岡のまちが用意してくれた居場所という感覚で、感謝していたからです。第3の居場所っていうと、生産性もなければ、目的もない場所だと思われがちですが、社会的にはそういったコミュニティやプロジェクトって必要だなんて感じるがよくあります。僕の中で、第3の居場所の存在は本当に大きかったです。もう1つは、グリーンバードに参加し始めた頃、朝からすれ違うサラリーマンの表情が疲れて沈んで見えたんです。仕事へ向かう姿が全く生き生きしていなかった。それ

で、せっかく仕事をするからには、もっと情熱を持ってやりたいと思うようになりました。

## 福岡テンジン大学を立ち上げるきっかけ

独立を考えていた2006年にシブヤ大学が立ち上がりました。グリーンバードを立ち上げた(当時)渋谷区議員の長谷部健さんが、住民なら誰でも参加できるまちづくりの大学を立ち上げたいと議会答弁されていたんです。それが載っている本を、当時はよく分からずに読んでいました。その頃、たまたま東京に出張する用事があり、仕事終わりに東京のグリーンバードに遊びに行きました。するとそこに長谷部さんがいて、そこでシブヤ大学を立ち上げる話を聞きました。話にどんどん夢中になり、こんなにクリエイティブな人たちが考えている大学ってどんなものだろうと興味を



▲福岡テンジン大学では酒蔵も学び場です

湧いて、そこからはもう直感です。ね、「僕は天神で福岡テンジン大学を作ります」と宣言していました。2009年に独立した直後、福岡市から、共働事業提案制度に、アイデアを出してみないか?という話が来ました。そこで福岡テンジン大学の話を、本気で立ち上げる意思が固まっていきました。



▲気軽に入学してもらえよう明めのロゴ

## 福岡テンジン大学について

福岡テンジン大学を立ち上げるためには、シブヤ大学のモデルを学習しないとイケないと考え、予算を組んだりしていましたが、ちょうどその時、総務省の事業でシブヤ大学モデルを全国に広げる取り組みで、シブヤ大学の方から、テンジン大学を作るならと声をかけられました。そこからシブヤ大学の講座を受けながら、福岡にどう落とし込もうかを1年かけて考え、設計しました。

僕はきっとシブヤ大学は、いろんな切り口の学びを通して、まちと人がつながることを考えようとしていたのだろうと受け取りました。その福岡版ということで、福岡テンジン大学の目的は、知識や学習の提供ではなく、学びというものを入口

として、いかにこのまちとつながれるか、福岡というまちを、いかに今までと違う目線で見られるようになるかなどを提供しようと思って作りました。なので、福岡テンジン大学に先生はいますが、あくまでも素材提供者であり、そのバトンもらった参加者が、福岡のまちの見方がどう変わって行くか問われる仕組みになっています。先生には、福岡のまちに関わる人であれば、誰でもなれます。福岡テンジン大学に興味を持ったら、メンバー登録し、活動に参加します。その中で、自分でもやってみたいと思う人がいたら、運営スタッフだったり、ボランティアスタッフ、授業の企画者になっていきます。この企画者になると、ヒト・モノ・カネ・情報の動かし方のコツがわかってきて、本業で出世していく人や、仕事を辞め独立する人もいます。ここでは2時間の授業でも先生が喋る時間が20分しかない、下手すれば先生が知識について何も話さないこともあります。あくまでも、参加した人達が何を考えるか、何を体験するかという授業スタイルがほとんどです。

## 福岡テンジン大学のこだわり

立ち上げてから、全国の姉妹校と交流する機会がありますが、どこも微妙にやり方は違っていました。おそらく福岡テンジン大学が他の学校と一番違うところは、リフレクションを大事にしている所です。開校当初はアンケートとい



▲授業では、先生も含め様々な年代の人が一緒に学んでいます。

う形で意見を取っていたのですが、途中からリフレクションシートを使うようになりました。このシートは、「なんで参加してみようと思ったのか」「どんなことを期待していたか」「新しい気づきや発見を持って帰れそうか」「新しく芽生えた疑問や知りたいこと」「授業の途中で誰かが言った印象に残った言葉」という設問になっています。通常こういったアンケートは、主催者側が用意した企画に対する参加者の評価ですが、ここでは、「あなたは今日この時間で何を学んで何を帰りますか」ということを重視しています。100年前の教育哲学者ジョン・デューイの「私たちは経験から学ぶのではない、経験を振り返るときに学ぶのだ」という言葉は、特に大切にしている考え方です。これによって参加者自身も今日何を学んで帰るのかということ振り返って認知できるようになります。このリフレクションシートは福岡テンジン大学が誇れる文化です。

とを語っていたのが印象的でした。それは天神らしさの一つです。し、他の商業施設も閉店に合わせてイムズに対するメッセージ横断幕を出していたのも、ある意味天神というまちの特徴的な部分だと思います。しかし、今行われている再開発では天神というまちのアイデンティティを出しづらくなっている気がします。だから、僕たちが言い続けているのは、消費者として天神のまちに来るのではなく、小さくてもいいので、天神だからこれをして何を帰りますか」ということを重視しています。そう言った場所を作って行くことをちゃんと議論できれば、天神というアイデンティティはきっと守れると思います。テンジン大学もこれから、対話が生まれる場所をどれだけ用意できるかを重視していきます。まちの中のすきま、人の流れの間にできる場所にこそ、これからも我々の出番はあると思っています。

# GOOD ACTIVITY FILES

## グッド・アクティビティ・ファイル

このコーナーでは「社会にイイ活動=Good Activity」を行っている団体をご紹介します。ボランティアに参加したいときや、自分たちの団体とつながる仲間を探すときなど、ぜひ参考にしてください。

### 49 暮らしや心を豊かにするデザインで福岡を感性豊かなまちへ

#### NPO法人福岡建築ファウンデーション

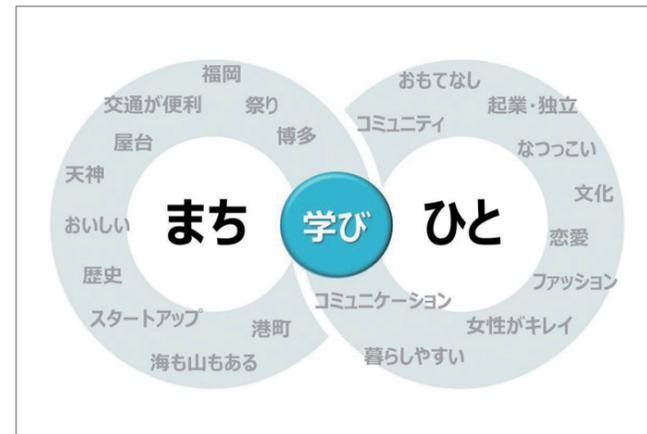
福岡にある建築や都市デザインの魅力を広め、人々の暮らしを支えるデザインが豊かに育まれるような土壌づくりに取り組んでいます。デザインを生み出すデザイナー・ユーザーである市民・これからを担う学生を結ぶ拠点として、建築ツアーや講演会、子どもがデザインに触れることのできるイベントなどを開催し、様々な方法で情報を発信しています。



### 50 私たちのまち「天神」をより魅力的に

#### We Love 天神協議会

福岡天神エリアの企業や団体、住民など様々な活動主体で構成され天神を「多様な魅力を備えたまち」にすべく活動を行っています。にぎわい創出を目的とした取り組みとして「天神ストリートパーティー」や、クリスマス施策、また「天神クリーンデー」で天神地区の環境美化活動なども行っています。



▲福岡に暮らす・働く・訪れるすべての人が対話し、学び合い、人と人、人とまちが繋がっていく。

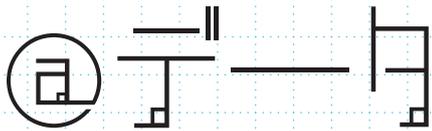
## これからの福岡と福岡テンジン大学について

最近一番天神らしいなって感じたのは、イムズ閉館のイベントです。商業施設という存在のイムズに、ある意味一種の人格のようなものを多くの人が感じていて、自分という人格と対比させてイムズのこ

## 福岡テンジン大学

2012年設立。この大学には校舎がなく、「まち」全体をキャンパスとしている。毎月第4土曜日に授業を行っており、これまで、500コマ以上の授業と、10,000名以上の参加者で活動を行ってきた。

<https://tenjin-univ.net/>



「@データ」は、市民公益活動に関わるさまざまな「データ」をもとに、詳しい方の意見を聞いたり、考えるきっかけをつくるコーナーです。

Tag:

## #福岡市の魅力と発展

### ★Data1

多くの人が福岡市が好き、住みやすいと感じています。  
福岡市の住みやすさに関する調査

出典:令和4年度 市政に関する意識調査

教えてくれた方

福岡市住宅都市局都心創生部  
都心創生課 計画調整係

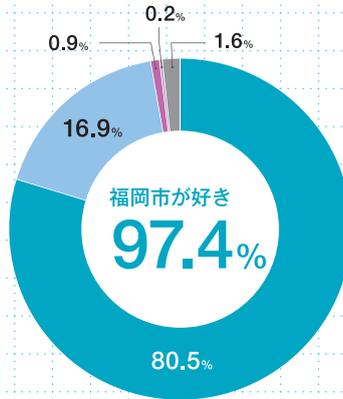
松本 悠助  
Yusuke Matsumoto



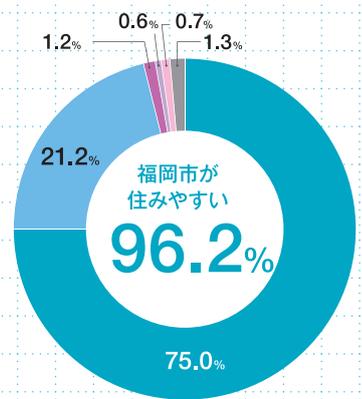
新たな空間と  
雇用を創出

福岡市住宅都市局都心創生部  
都心創生課 誘導支援係長

坂田 悠  
Yu Sakata



■ 好き ■ どちらかといえば好き  
■ どちらかといえば嫌い ■ 嫌い  
■ 無回答



■ 住みやすい ■ どちらかといえば住みやすい  
■ どちらかといえば住みにくい ■ 住みにくい  
■ 分らない ■ 無回答

### 天神ビッグバンについて

福岡都心部は、航空法の高さ制限があったため、高層ビルが建てられず、多くの老朽ビルは、建替えると床面積が小さくなってしまことから、建替えが進まず、建物の耐震化やセキュリティ面での課題がありました。

また、福岡県西方沖地震を契機に警固断層がある都心部での耐震化が急務となったほか、企業誘致においても、老朽ビルの耐震化やセキュリティ面がハードルとなり、企業が求める物件がなく、誘致の機会を逃した事例も発生していました。

天神ビッグバンは、警固断層等のリスクがあるなか、国家戦略特区により航空法高さ制限の緩和を獲得した機を逃すことなく、容積率緩和などを組み合わせ、老朽ビルが耐震性の高い先進的なビルに建て替わることにより、多くの市民や、働く人・訪れる人の安全・安心につながるもので、さらに都心部の機能を高め、新たな空間や雇用、税収を生み出すプロジェクトです。

### 天神ビッグバンによる変化

天神ビッグバンが始動した2015年2月から、2022年5月までの期間で、建築確認申請数が59棟、竣工棟数は50棟となっており、今後建替えは進み、2026年までには、70棟ものビルの建替えが見込まれます。

天神ビッグバンなどによりビルの建替えが進む

中、建物建替えの機会を捉えたセットバックなどの民間敷地内に生まれる限られた空間などにおいて、緑・憩い・アートなど、まちに潤いを与える魅力的で豊かな公共空間の創出など、今後、貴重なオープンスペースである公開空地が順次生み出されていくこととなります。

また、耐震性の高い先進的なビルに建て替わることにより、安全・安心なまちづくりも促進されます。

これは、「福岡市が好き」「福岡市は住みやすい」と感じている【Data1:令和4年度 市政に関する意識調査】市民の思いに、さらに応える取り組みだといえます。

### 福岡市のこれからの取り組み

福岡市が進める「都心の森1万本プロジェクト」や「Fukuoka Art Next」や「ベンチプロジェクト」などを推進するため、多くの市民が利用可能な公開空地などにおける、緑化や文化、ユニバーサルデザインなどの取り組みの誘導強化に向けて、令和5年2月に天神ビッグバンボーナスをアップデートしています。

建替えにあわせ、みどりや文化・歴史などが持つ魅力にさらに磨きをかけ、多様な個性や豊かさを感じられる、多くの市民や企業から選ばれたまちづくりに取り組んでいきます。

### ★Data2

#### 航空法高さ制限の特例承認

旧大名小学校跡地	
約76m	→ 約115m
天神明治通り地区	
約67m	→ 約115m (西側)
約67m	→ 約76m-100m (東側)
天神一丁目地区	
約65m-67m	→ 約80m-96m



#### 天神ビッグバンボーナス

魅力あるデザイン性に優れたビルを福岡市が認定し、インセンティブを付与する制度です。

天神地区における先進的なビルへの建替えを一層促進し、高質なオフィス・商業空間と都市景観の創出を図るとともに、憩いと賑わいのある、新たな天神のまちづくりを加速させます。

#### 天神ビッグバンボーナス認定要件

- ① 低層部・公開空地も含めたデザイン性の高いビル
- ② 周辺ビルとの連続性を意識した建物デザイン
- ③ まちに潤いを与える木陰や花、目に映える緑化の推進
- ④ ユニバーサルデザインへの配慮

## あすみんのオススメ

Asumin Recommend

### 「あすみんノート」紙版・終了のお知らせ

当センターの情報誌「あすみんノート」は本誌32号を持ちまして、紙版としての発行を終了することとなりました。2002年10月に創刊した「あすみん情報誌」から数えて95冊。これまで長きに渡りご愛顧いただき、誠にありがとうございました。今後は新たに「電子版」へと移行し、これまで以上に市民活動に有益な情報をお届けしてまいります。購読は、公式ウェブサイト上でのダウンロード、あるいはメールマガジンにて購読方法をお知らせいたします。



## ホンダナ!

Hondana!

あすみんの図書コーナーに所蔵している書籍をご紹介します!

### はじめてのまちづくり学



ISBN: 978-4-7615-2781-5  
 定価: 2,970円(2,700円+税)  
 判型: B5変  
 ページ数: 172

社会課題が多様化している中で、持続可能なまちづくりが重要になってきています。本書は、まちの成り立ちやまちづくりのプロセス、日本各地の事例などが順序立てて説明され、各章にワークシートも付いているので、まちづくりを『自分事』として学ぶことのできる一冊です。大人も子どもも、みんなが住み続けられるまちづくりをはじめませんか?

【著者】山崎 義人  
 【出版社】学芸出版社  
 【発売年】2021年

## 登録団体紹介

Organization Introduction

### あすみに登録された団体を紹介しします。(登録番号869~896)

- NPO法人えほん楽団
- ウェルビーイング・ラボ
- 福博歴史探究会
- 特定非営利活動法人まなびや木の木
- 福岡県トライアスロン連合
- RAYTUS group.
- ホリスティックビューティー塾
- 特定非営利活動法人エブリワンス・ストーリー
- 一般社団法人福岡県ラグビーフットボール協会
- 神社仏閣文化振興実行委員会
- あしなが学生募金事務局
- そうくん
- Niente
- NPO法人 musicGate
- 特定非営利活動法人博多映画道場
- 特定非営利活動法人 命と性の相談室
- 公益社団法人福岡県人権研究所
- 和磨きの会
- アジア共同行動 九州・山口
- 自殺者数を0にする運動
- NPO法人 先人の築いた文化と想いを伝統工芸・芸能を通じ現代に活かし発展伝承していく会
- 絵本deえがお
- 博多ハイブリッドママ会
- 福岡地区曾於市会
- 特定非営利活動法人びいす
- 相続マインズ福岡
- トーキョーコーヒー福岡城南

### 利用団体登録について

check!

あすみんでは、施設やサービスを利用される団体に関して、利用団体登録をお願いしています。**福岡市内で活動し、市民公益活動に取り組む団体(主にNPOやボランティア団体)が対象となります。**登録に必要な書類は、下記の(1)~(6)になります。ご記入のうえ、窓口までお持ちください。また、(7)、は登録の際にご持参ください。登録申請時には、書類の確認・面談を行います。

#### 登録に必要な書類

- (1) 福岡市NPO・ボランティア交流センター施設利用許可申請書(団体)
- (2) 団体の運営に関する規則(定款、規約、会則等)
- (3) 活動計画書
- (4) これまでの活動実績がわかる資料
- (5) 役員名簿
- (6) 自己チェックシート
- (7) 申請者本人確認書類(運転免許証、健康保険証など)

## 福岡市NPO・ボランティア交流センター あすみん

【住所】〒810-0021 福岡市中央区今泉 1-19-22 天神クラス4F  
 【TEL】092-724-4801 【FAX】092-724-4901  
 【MAIL】info@fnvc.jp 【HP】https://www.fnvc.jp  
 【開館時間】月~土曜 10:00~22:00 日・祝日 10:00~18:00  
 【休館日】第4水曜日、年末年始 12月29日~翌1月3日  
 【facebook】https://www.facebook.com/asunoshimin/



お越しの際は公共交通機関をご利用ください

- 地下鉄をご利用の場合 ● 七隈線「天神南」駅 1番出口から徒歩6分
- バスをご利用の場合 ● 西鉄バス「今泉1丁目」 徒歩1分
- 電車をご利用の場合 ● 西鉄福岡(天神)駅 南口から徒歩5分



HP



facebook

